

第 1 章

コンピュータネットワーク登場の背景

- ・ スタンドアロンの時代

コンピュータは 1 台 1 台が独立しており、それらで共通するデータは F D などを利用して交換する必要があった。このため、データの共有などは大変不便であった。

- ・ コンピュータネットワークの時代

初期のネットワークは管理者が指定した特定のコンピュータを接続したものである。その用途はファイルサーバやプリントサーバなどが中心であり、データの共有化が社内などの私的な用途（L o c a l）で使われるようになった。（L A N の始まり：Local Area Network）

- ・ インターネットの時代

企業などが使うネットワークとは別に、WWW というシステムがインターネットを発達させた。これは、ハイパーテキストという概念を用いて、世界中のコンピュータを手軽に相互接続するシステムである。WWW により、ネットワークが個人の身近なものになってきた。

- ・